

(様式2(1))

事業所名 グループホームCHIAKIほおずき加古川

目標達成計画

作成日: 平成 22年 5月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	未経験新人職員が多くなり、「身体拘束」について身体的にどんなことが身体拘束になるのか、又、精神的にはどんなことが身体拘束になるのか。学べていないのが現状である。	新人職員の研修を実施する。 経験年数や研修を受けている職員への再度研修を実施する。	研修委員が中心となり研修を進めていく。 パートナー会議の中で枠を取っている、勉強会で学ぶ。	6ヶ月
2	9	管理者、主任が不在の際、家族よりの問い合わせや質問に対応できないことがある。 新人の職員だけではない。家族に生活の状況を伝えることができ、安心して貰える会話ができる。	パートナー全員が、経験年数や今のレベルに応じた家族への対応が出来る。	パートナー全員が、家族よりの問い合わせや質問に対応できるよう、主任、計画作成が見本となり練習を繰り返すことにより自分のものにしていく。	6ヶ月
3	26	介護計画の様式の変更を完了させる。定期的な更新と説明を行う。家族と本人を交えたモニタリングが出来るようにする。介護者側からの一方的な介護計画にならないように、家族や本人の要望を聞き計画に盛り込んでいく。	家族の支援やインフォーマルサービスを位置づける取り組み。	各計画作成担当者がケア会議を計画的に開催できるように、計画表を作成して実施していく。	6ヶ月
4	35	地域消防団との連携	災害時に備えて、地域住民に応援をいただける仕組みづくり。	年3回行う防災訓練に、出席していただく。運営推進会議への出席をしていただく働きかけ。(5月実施の訓練には、都合が合わず欠席)	6ヶ月
5					ヶ月